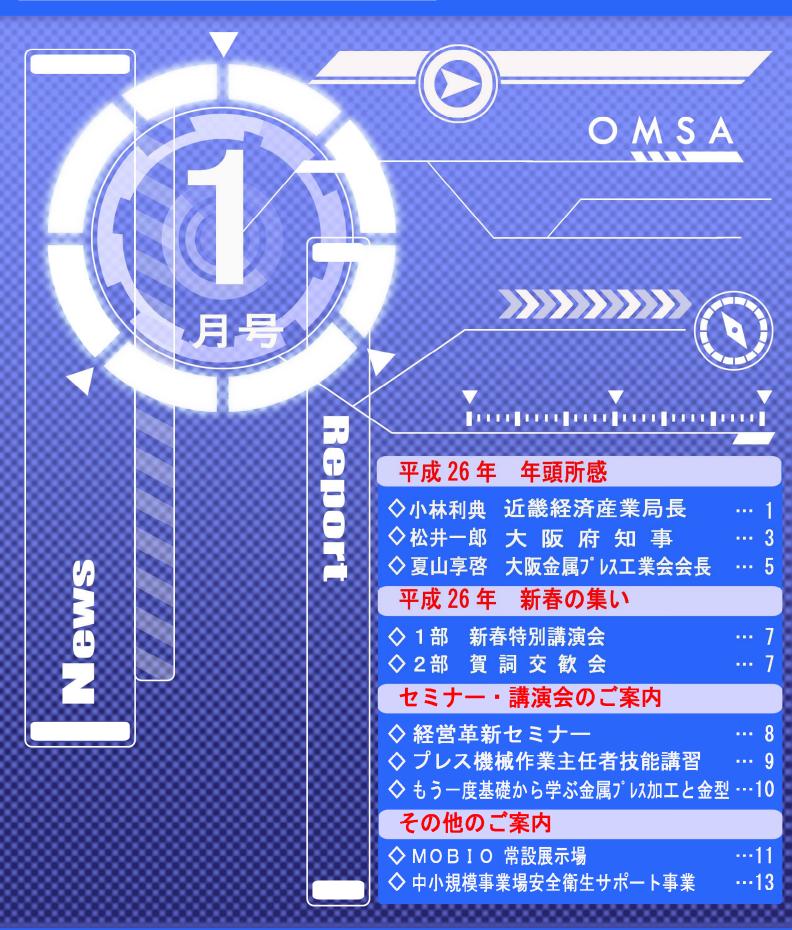
レス会報 2014年新年号

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

(年4回発行)





年頭所感

近畿経済産業局長 小林 利典

平成26年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は極端な円高の是正や株価の大幅な回復など、日本経済にとって様々な良い変化がございました。一方で、大企業と中小企業、大都市圏と地方圏、また業種によって、景気の回復が"まだら模様"となっているようにも見受けられます。

我が国には、世界で高い評価を得ている企業や、優れた研究者が数多く存在しています。 景気回復の追い風を味方に、これら我が国の強みをより一層向上させるため、政府一丸と なって成長戦略を実行していきます。当省としましても「産業競争力強化法」で確立する実 行体制のもと、スピード感をもって政策を立案・実施していきますので、施策の積極的な御 活用をお願いいたします。

関西には、世界的な大企業からオンリーワン技術を有する中小ベンチャーまで、多岐にわたる企業が揃い、有力な中堅・中小企業が集積しています。蓄電池や医療機器をはじめ、高度な技術力を持ち、世界の製造現場を支えている企業や、大学、研究機関も多数存在しています。関西がこの強みを最大限に発揮するために、当局は本年も、以下に掲げる取組みをはじめとして事業環境の整備に努めるとともに、関西経済の発展に尽力してまいります。

まず、関西の成長産業であるライフ・グリーン分野の取組みを応援します。

ライフ分野に関して、関西には製薬企業、大学・研究機関、医療機器関連の企業が集積しています。当局では自治体等と協力し、医療現場のニーズとものづくり企業とのマッチング推進などを積極的に進めており、今後も革新的な技術や新たなビジネスが生まれるよう支援してまいります。

また、東日本大震災以降大きく変化したエネルギー需給環境下において、再エネ、新エネ、熱利用を含めた多様なエネルギーの導入・利活用に加え、地域レベルで統合的にエネルギーマネジメントを行い、エネルギーを有効に利用することが求められています。当局では、多様なプレイヤーの参画のもと、関西スマートコミュニティ推進フォーラムを立ち上げ、関西におけるスマートコミュニティ形成の推進と関連産業の振興を目指す取組みを進めてまいります。

次に、優れた中小企業の海外展開支援を、引き続き積極的に行います。一昨年11月にはベトナム商工省と、また昨年4月には、ベトナムドンナイ省と当局との間で、関西とベトナム間の経済交流に関する協力文書を締結し、関西企業が現地でスムーズにビジネス展開できるよう働きかけています。中小企業の海外展開は、大きなビジネスチャンスにつながる可能性がある一方、企業単独ではハードルが高いことも事実です。企業の方々には行政の支援を御活用いただきたいと考えています。

加えて、関西は独自の文化やライフスタイルの魅力を有する、生活文化産業の集積地でもあります。これらの感性価値の向上やクリエイティビティの強化を図り、「クール&クリエイティブ関西」として海外へアピールする試みを、本年も積極的に進めてまいります。

今、日本経済は、長年続いたデフレから脱却しようとしています。

今後、デフレスパイラルを断ち切り、景気回復の流れを加速させるためにも、経営者の 方々には、新事業への投資や賃上げをはじめとする景気の好循環を促す取組み・御英断 をお願いしたいと思います。皆さまと一緒に関西を盛り上げていく取組みを、職員一同、全 カでサポートしていく所存です。

現場主義が私の信条です。当局の職員はもちろんのこと、私自身も、できる限りいろいろな方にお会いし直接お話を聞くようにしています。本年も引き続き、皆様の声を行政に反映すべく努力してまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

本年も経済産業政策への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様方の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



平成26(2014)年知事年頭所感

大阪府知事 松井 一郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、経済面でもようやく回復基調がみられる中、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定するなど、日本全体に明るい兆しを感じる年となりました。大阪においても、うめきたの先行開発区域グランフロント大阪の開業といった、明るいニュースがありました。

知事就任以来「大阪の再生」が「日本の成長をけん引する」という強い意志の下、「変革と挑戦」の取組みに全力を注いでいるところです。就任3年目を迎え、2014年は、さらなる飛躍の年にしたいと思います。

柱の一つは、大阪府と大阪市で一本化した「大阪の成長戦略」に基づく持続的な「成長」の実現です。その起爆剤となるのが「特区」です。大阪の成長のためには、人材や企業が国内外から集まり、新たな価値を創出する「イノベーション都市」へと生まれ変わることが必要です。関西イノベーション国際戦略総合特区では、大阪の強みを活かしたライフサイエンスや環境・新エネルギー分野の産業・技術の強化を図り、最大「地方税ゼロ」となる税制措置やプロモーション活動等によって、企業の集積や投資が進みつつあります。

また、昨年末に法律が成立した「国家戦略特区」は、規制緩和や民間開放により民間活力を最大限に引き出す制度です。大阪から「世界に打って出る」「世界を取り込む」をテーマに、医療、都市再生、公設民営学校などのプロジェクトなど、全国一大胆な提案を大阪府・大阪市共同で行いました。今年は、特区の地域指定などが予定されており、指定獲得に向け取り組みます。

そして、特区による経済効果をさらに広く府域全体に波及させ、大阪経済の主役である中小企業等の皆さんにも、景気の回復を実感していただきたいと考えています。

また、成長を支える重要な取組みとして、都市魅力の創造と発信を戦略的に進めてまいります。昨年、府・市・経済界共同で立ち上げた大阪観光局を中心に、引き続きオール大阪で都市魅力向上・発信に取り組み、観光集客の強化を図ってまいります。 さらに、来年2015年は、大坂の陣、道頓堀川開削から400年などさまざまな節目の年に当たり、大阪の魅力を世界に向けて発信していくシンボルイヤーと位置付けています。毎日、大阪のどこかでイベントが行われている「年間を通じた空前のお

祭り」となるよう、今年から準備を進めていきます。行政として、規制緩和や活躍の場の提供、広域的なプロモーションなど主役である民間の取組みを支え、府域全体で大阪の都市魅力を高める取組みを加速していきます。

成長とともに、「府民の命を守る」ことは、行政として取り組むべき最も基本的な 使命です。とりわけ、南海トラフ巨大地震対策は、喫緊に取り組まなければならない 課題です。

「人命を守る」ことを最優先に、「防災」はもとより、被害を最小限にくいとめる 「減災」の取組みが重要です。また、大阪が被災した場合、大阪経済のみならず、日本経済全体にも多大な損失を与えることになります。国家的観点から国においても必要な取組みを行うよう働きかけるとともに、大阪が「真に災害に強い都市」となるため、着実に取り組んでいきます。

まずは、津波浸水被害を防ぐための防潮堤の補強にただちに取り掛かるため、緊急の補正予算を編成しました。府域の詳細な被害想定などを踏まえ、ハード・ソフトの両面から地震・津波対策を行います。

さらに、大阪にふさわしい大都市制度をめざして、現在、「大阪府・大阪市特別区設置協議会」において、具体的な制度設計について議論を進めています。今年は、府民、市民の皆さんとさらに議論を重ね、大きな方向性を見出したいと考えています。広域行政の一元化や二重行政の解消、そして住民に身近な行政をめざし、将来、誰もが「大阪が変わった、日本も良くなった」と思えるよう「新たな大都市制度」の実現に向けて、取組みを進めます。

今年は、「国家戦略特区」や大阪が全国に先駆けて取り組む「新たな大都市制度」等を通じて、大阪から「改革」を着実に進め、実を結ばせたいと強く思っています。「大阪が変われば日本が変わる。」を信念に、首都圏とともに日本の成長をけん引し、東西二極の一極を担う「強い大阪」を目指してまいります。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって 実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。

年頭のご挨拶





(一社) 大阪金属プレス工業会 代表理事 夏山 享 啓

新年明けましておめでとうございます。

平素より当工業会の事業運営にあたりまして会員各位をはじめ、関係行政機関並びに関連諸団体等、多くの皆様方のご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。 さて、第二次安倍政権が誕生して早いもので1年になります。

アベノミクス(安倍政権の経済政策)、即ち3本の矢(異次元の金融緩和・公共投資を中心とした機動的な財政出動・TPP参加等の民間投資を喚起する成長戦略)、更に財政再建策が功を奏したのか、1年前と比較しますと為替相場は83-85円→102-103円そして平均株価は、1万円台→1万5千円台へと大きく円安・株高に変化致しました。勿論、この様な効果が出たのはその政策内容が市場に評価された部分もありますが、やはり米経済が堅調に推移している要素が大きいと言われております。

然しながら、原発問題はまだまだ解決の糸口を見出せず、数値目標にこそございませんが節電要請がなくなったわけではなく、火力発電への移行等々で電力料金は上昇傾向という課題を残したままでございます。

又、円安を背景に輸出関連産業は好業績を上げております、資源を中心に輸入材関連は高騰しております。本年 4 月 1 日より消費税が5%→8%に増税されます。景気の腰折れに配慮し5兆円の補正予算を組み、税制改正で 1 兆円減税を実施する事になっていますが、非常に心配な要素を含んでおります。

弱電業界も少し収支が改善されつつあるという情報もございますが、我々プレス業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続くものと予想されます。

然しながら、日本の製造業にとって必要不可欠な部品を生産しており、無くてはならない基盤産業であります。今後より一層の技術向上に努力し業界全体が底上げされる様に会員各位に役立つ事業を本年も展開して参る所存でございます。

どうぞ従前にも増してご協力頂きます様お願い申し上げます。

少し話題は変わりますが当工業会も昨年7月29日に一般社団へ無事移行し事務局長も池田氏より中西氏へと交代となりました。新事務局長の元、本年従来の継続事業の他、新たにこれ迄になかった事業計画を積極的に実施して参る所存でございます。 どうぞご期待下さい。

最後にはなりますが、本年は甲午(きのえうま・こうご)の午年です。

東京オリンピック·パラリンピックの開催決定もあり、益々追い風の吹く可能性が高いという説もございます。

馬は陰陽道では陽となり火になるそうです。馬ならでは『勢いよく突き進む力』こそ日本に足りなかった『馬力』、『心をもってせざれば名馬生まれず』とのたとえを忘れる事はなく長引く不況を克服しプレス工業会再興へ向けた馬力みなぎる一年になる様願っております。

どうか本年も皆様方によってより良い年になります様、又、繰り返しになりますが 当工業会が益々発展する事を祈念致しまして年頭のごあいさつにかえさせて頂きま す。





平成26年 新年賀詞交歓会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年を迎えるにあたり、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、恒例の新年賀詞交歓会を下記のとおり開催させていただきます。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますよう ご案内申し上げます。

尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます

敬具

記

【日 時】 平成26年**1**月**29**日(水)

第1部 新春特別講演会 15:30~17:00

演題:「創造的過疎から考える地球の未来」

講師:大南信也氏(徳島県神山町 NPO 法人グリーンバレー理事長)

第2部 新年賀詞交歓会 17:15~19:45

【会 場】 第1部 たかつガーデン 3階「ローズ」 第2部 " 2階「コスモス」

【参加費】10,000円/人

三菱東京 UFJ 銀行上本町支店

お振込先 (普)0487575

(社)大阪金属プレス工業会

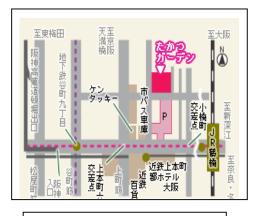
(プロフィール)

講師: 大南信也氏 1953年 徳島県神山町生まれ 米国スタンフォード大学院修了 現在NPO法人グリーンバレー理事 長 過疎化地域が生き残るための解 決策を見いだそうと、アートや環境 を柱に世界と地域をつなぎ、グロー バルな地域活性化に取り組む

(社) 大阪金属プレス工業会宛 FAX 06-6762-7633 mail omsa1@omsa.or.jp

平成26年 新年賀詞交歓会参加申込書

会社名		○印お願	いします
役職名	氏 名	講演会	懇親会
お支払い方法	□振込 (/ 予定)		á日払



大阪市天王寺区東高津町 7-11

東大阪商工会議所 講習会のお知らせ

経営革新セミナー 『伸びる会社のすごい秘訣』 ~儲けをお客様に"倍返し!"~

【大阪府小規模補助事業】

厳しい経営環境の中でも、儲けを出し続けている中小企業には共通する「訳」があるといわれています。従業員もお客様も喜ぶ会社の秘訣とは何か?今ある人材をいかに活用し、育成を最重視して儲ける会社の事例を通じて、数多くの中小企業に"伸びる"指導を手掛けた講師が明らかにします。奮ってご参加下さい。

- ◆日 時 平成26年3月4日(火) 午後6時30分~8時30分
- ◆場 所 東大阪商工会議所 本所 本館 5階 501号室
- ◆内 容 1. "伸びる・儲かる" 会社 共通の「訳」
 - 2. 大切なのは"経営力・変化力そして人間力"
 - 3. 収益力の向上「押せば利益の泉湧く!」
 - 4. いつ決断するのですか? "今でしょ!"

上記に続き、大阪府担当者より経営革新計画の承認制度等の紹介

- ◆講師 株式会社ユーマスブレーン 代表取締役 丸山 孝明 氏 【略歴】昭和53年 中央大学商学部卒業後、中堅中小企業の経営革新支援業務 に従事し、平成3年1月 株式会社ユーマスブレーン設立。代表取締役と して現在に至る。10月開催「経営革新セミナー」では参加者の80% 以上が「大変参考になった」と回答、好評を得ている。
- ◆参加費 無料
- ◆定 員 40名
- ◆申込み 中小企業相談所

問合せ TEL (06) 6722-1151/FAX (06) 6725-3611

経営革新セミナー参加申込書中小企業相談所

企業名		<u>役職</u>	
4			
参加者名	•	所在地	

平成25年度

「プレス機械作業主任者技能講習」 開催のご案内

大阪労働局長登録教習機関(登録第1号) (公社)大阪労働基準連合会 TelO6-6942-7401

本講習は、労働安全衛生法第14条に基づく作業主任者の資格を取得するための講習です。 次の要領で「プレス機械作業主任者技能講習」を開催しますので、この機会に、是非受講 されますようご案内いたします。

1 受講資格

プレス機械による作業に5年以上従事した経験を有する者 (シャー、鍛造プレス・型打ち機等を除く)

※経験については、事業者の証明が必要です。

「事業者」とは事業を行なう者で、労働者を使用するものをいう。従いまして、事業者証明は事業場を代表する者(社長、支店長、工場長、市長等)または業務経歴を管理する部門の長(人事部長・総務部長等)、個人企業にあたってはその事業主個人の職名・氏名で行ってください。

2 講習月日·受講料

* 斜線の引いてあるものは既に定員に達し締め切っております。

平成25年5月9日(木) ~ 平成25年5月10日(金)	平成25年8月5日(月) ~ 平成25年8月6日(火)
平成25年12月5日(木) ~ 平成25年12月6日(金)	平成26年3月10日(月) ~ 平成26年3月11日(火)

●受講料 (テキスト代含む)

11, 970円

内訳【受講料10,000円・消費税500円・テキスト代1,470円(内税)】

<u>※講習受付開始日は、講習実施月の3か月前の10日です。</u> ただし、10日が当会の休業日である土曜、日曜、祝日にあたる場合は、 翌平日が講習受付申込開始日となります。

3 講習科目及び時間 ※時間割は都合により振替わることがあります。

講習日程	時間割	科目
	9:00~15:00	プレス機械の種類と構造・機能 安全囲いと安全装置の種類と構造・機能
第1日目	15:10~17:10	金型の安全化 金具の取り付け、調整および取外し作業
	17:20~19:20	労働安全衛生法における事業者と作業主任者 プレス作業の災害防止の基本的な考え方 関係法令
第2日目	9:00~14:00	プレス機械、安全装置の保守・点検 安全なプレス作業 作業手順の作成と周知徹底 作業環境の整備
	14:10~16:10	手工具の種類とその活用 材料の送給装置及び製品の取り出し装置
	16:20~17:20	修了試験

4 講習会場

エル・おおさか(大阪府立労働センター) 南館11F

大阪市中央区石町2-5-3

*地下鉄・京阪電鉄天満橋駅下車、西へ300m

5 定 員

100名(定員になり次第締め切ります)

6 修了証の交付

所定の科目を受講し修了試験合格者に簡易書留にて送付いたします。

技術セミナーのご案内

もう一度基礎から学ぶ金属プレス加工と金型

- 「当たり前を再度見つめ、考えてみる」 -

プレス加工は生産性が非常に高く、高精度の製品を大量にしかも安価に作れるといった優れた特性を持っており、機械・金属製品製造業において重要な産業技術の一つとなっています。ノウハウや経験が大いに物を言うプレス加工ですが、良い製品を作るためには加工の原理をきっちりと理解することが求められます。

本セミナーでは、基本となるせん断・曲げ・絞り加工を中心に取り上げ、それらの原理、特徴についてしっかりと学んでいただきます。さらに、プレス機械や金型に関する知識、トラブル事例を交え、実践にも役立つ内容に 焦点をあて、わかりやすく解説いたします。

	主な内容	Jen.	 1. プレス機械の機構、動作原理を知る プレス機械の能力を表す3つの要素 加工に応じたプレス機械の選定 2. プレス加工の種類と特徴	È	
	愛:	知	平成26年1月24日(金) 9:20~16:20 (会場受付:9:10~)		
日	東:	京	平成26年2月28日(金) 9:20~16:20 (会場受付:9:10~)		
時	大丨	阪	平成26年3月14日(金) 9:20~16:20 (会場受付:9:10~)		
7	付 象 者	者	現場のリーダー及び現場従事者		
ŧ	参加	費	会 員 4,000円 一 般 8,000円 定員 各会場40名(先着順)		
	溝 :	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	愛:	知	ウインクあいち(愛知県産業労働センター WINC AICHI) 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38		
会場	東	京	東京体育館 第二会議室 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1		
	大丨	阪	マイドームおおさか 8F 〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番5号		
	主 保	Ě	一般社団法人日本金属プレス工業協会一般社団法人愛知県金属プレス工業会一般社団法人大阪金属プレス工業会一般社団法人東京都金属プレス工業会一般社団法人日本金型工業会		
Ħ	込み方	法	一般社団法人大阪金属プレス工業会のホームページから申込用紙をFAXして下さい		



愛知会場



東京会場



●阪神高速道路でご来場の方は大阪環状線本町出口をご利用下さい。

大阪会場

MOBIO 常設展示場 出展の意向調査 (継続)

拝啓時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、当工業会として、MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)の常設展示場を確保する予定です。3ブースの確保を予定しており会員企業の皆様にご利用頂きたいと思っております。インターネットによる紹介ページ(日・英語版)もございますので、企業・製品のPRにご利用頂けます。詳しくは添付資料及び下記サイトをご参照下さい。

(MOBIO 常設展示場 http://www.m-osaka.com/jp/facility/exhibitionhall.html)

昨年末に会員企業様へ出展の意向調査をさせて頂きましたが、まだご回答を頂いていない会員企業様が多数おられます。企業や製品のRP、拡販活動などにご利用頂きたく、回答がまだの企業会員様には引き続き出店にご興味のある、なしを意向調査用紙にご記入頂いてFAXにて返信をお願い致します。

なお出展の費用ですが、まず1年間は工業会が全額負担をさせて頂く予定です。

敬具

(ご参考)

<MOBIO常設展示場所在地>

〒577-0011 東大阪市荒本北 1 丁目 4-17 クリエンション・コア東大阪 北館 1 階・ 2 階

<MOBOI常設展示場とは>

中小企業の優れた技術・製品を一堂に集め、ビジネスマッチングにつなげることを目的に 大阪府が開設した国内最大級の常設展示場です。

(欧川が開放した国内)	双八//X * / 市 区/区/下///	C 9 o	
 (□にチェック と		出展意向の確認調査 記入頂いてFAX返信	お願いします)
□ 興味があるので□ 興味がない、出	で出展を検討したい 出展を希望しない		
会社名()	
担当者()	

返信 FAX:06-6762-7633



展示場出展募集

『こんな技術・製品を探しています』という企業の方々が来場する場。 御社の優れた技術製品を*MOBIO*(モビオ)の常設展示場でご紹介ください。



視察の受入・展示企業のPR!

国内外の様々な視察を受け入れ。 アジアを中心に海外からも多数 来場されます。





専門家集団の強力な支援!

モビオでは専門コーディネーターを 配置して相談対応をしています。

- 技術支援
- * 経営支援
- * 知的財産の相談
- 産学連携支援
- 国内外の販路開拓支援



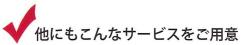
常設展示場は国内最大級の200ブース!



ホームページで 企業と技術・製品を紹介!

日英版のホームページには、 年間80万件を超えるアクセス数。 外国企業からの引き合い翻訳の サービスもあります。(無料)





様々なイベントを企画して、 ビジネスマッチング・情報交換の場を提供しています。

- * 各種セミナー・商談会など
- 自社PRと情報交換の場、MOBIO-Cafe Meeting

大型展示も可能!!



- ★ 応募資格 原則として中小企業の製造事業者、および製造グループ・団体など
- ★ 出展料 1ブースぁたり月額21,000円(根込) 一部補助金を交付する自治体があります。※詳細についてはお問い合わせ下さい。
- ★ ブースの形状 基本ブース (外形) W900×D900×H2400

展示台 W800×D800×H900・600・300 (Hは3種類から選択)

★ 応募 MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)

お問合せ先 〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-4-17 北館 1 階受付カウンター

(株)コンベンションリンケージ 奥田・兒玉 (こだま)

TEL.06-6748-1011 FAX.06-6745-2362 e-mail: info@m-osaka.com

MOBIOは、大阪府と関係機関が運営する中小企業のためのものづくりに関する支援拠点です。

モビオ で 検索 http://www.m-osaka.com

見学は自由です

中小規模事業場(100 人未満)の皆様へ

「中小規模事業場安全衛生サポート事業」のご案内

(厚生労働省「製造業に対する特別労働災害防止対策」補助事業)

「現場確認&アドバイス"(個別支援)を 安全・安心な職場つくりに活かしましょう!

知識・経験豊富な安全衛生の専門家があなたの職場にお伺いし、労働現場や作業の問題点を明らかにして改善のアドバイスを行います。

●「中小規模事業場安全衛生サポート事業」の概要



安全衛生の専門家(安全衛生管理士等)が事業場にお伺いし、簡単な安全衛生の確認とアドバイスをさせていただく「現場確認&アドバイス」(個別支援)により、各事業場の安全衛生に対する取り組みを支援する事業です。また、事業場の経営者様または安全衛生担当者様に集まっていただく「研修会」(集団支援)と組み合わせることも可能です。

事業場の皆様には「個別支援」による事業場の安全衛生活動を応援 します。

【個別支援で例えば、こんなことができます】

- 1. 専門家の目で現場を確認して、安全衛生の弱点を明らかにし、改善の手順を示します。
- 2. 機械災害の芽となる「危険」を見つけ、リスク低減の具体的方法を示します。
- 3. 化学物質の使用状況を確認し、化学物質による健康障害や爆発火災等のリスク評価の進め方を示します。
- 4. 職場巡視に同行し、巡視における目の付け所をアドバイスします。
- 5. 重量物取扱い作業等の現状を拝見し、腰痛発生予防へのアドバイスを行います。
- 6. 安衛則の改正を踏まえた食品加工機械の安全化へのアドバイスを行います。

●対象事業場

労災保険加入の製造業の事業場であって、労働者数が 概ね100人未満の事業場が対象です。

●事業場にかかる費用

実施にかかる費用負担は一切ありません。

※個別支援において知り 得た事業場の情報は、 行政機関はじめ第3者 が知ることはありません。

無料

★中小規模事業場安全衛生サポート事業「個別支援」の申し込み等については 裏面をご参照ください。

> ※第三者(安全衛生の専門家)による確認で、事業場が進める安全 衛生向上のための確認の場としてぜひご活用ください!

サポート事業でこの機会に職場状況を見つめ直してみたいとお考えの事業場を募集します!(※実施事業場数限定、先着順受付)

- ●どうやって進めていくの?
- ※まずは本ページの実施希望書に必要事項をご記入の上 FAX にてお送りください。

FAX 送付

【作業状況、現場確認希望日等の確認】

当方からご担当者様に連絡し、作業状況や現場確認にお伺いする希望 日等をお聞きします。必要により事業場へお伺いして、作業場の下見 等をいたします。



現場確認実施日の決定

【個別支援の実施】(全般的な現場確認 概ね2時間程度)

当協会の専門家が事業場にお伺いし、作業場の状況、作業内容等の確認を行います。



【職場の確認等に基づいたアドバイス (報告書の作成)】

職場確認した結果に基づいて安全衛生活動に関するアドバイス、具体的な改善提案などのほか、ご要望により作業者教育等を行います。





【申込等に関するお問合せ】

中央労働災害防止協会 技術支援部

(担当:青木、岡村、水沼)

TEL 03-3452-6375 FAX 03-5445-1774

中小規模事業場安全衛生サポート事業(個別支援)実施希望書

中災防 技術支援部 担当者行 (FAX 03-5445-1774)

事業場名	\(\frac{1}{2}\)		
住 所			
担当者所属		担当者名	
TEL		FAX	

[※] この希望書を確認のうえ、正式申込書書式をお送りしますのでお手数ですが、記載の上ご返送 ください。

